

幹事会のページ

最近、世の中では盛んに情報公開が叫ばれております。熱測定学会では、決定事項等はこれまでも必要に応じて総会の場や会誌を通じてお知らせしてまいりましたが、幹事会の審議状況や決定事項を会員の皆様に理解していただくために、本号より毎号「幹事会のページ」が掲載されることになりました。

幹事会の構成と幹事会の議題

今回は初回ですのでまず簡単に幹事会について説明します。熱測定学会は会員による選挙により会長と委員を選出しています。会長と委員の任期は2年で委員数は約30名です。幹事は委員の互選により選任され任期は2年です。委員と幹事の改選は引継を円滑に進めるため毎年半分づつ行われます。幹事会は分野、地域および年齢に偏りがないように配慮して、委員候補者を推薦しますが、会員なら誰に投票してもかまいません。一方、会長候補者は昨年度から正会員10名以上の推薦人があれば立てられるようになり、選挙により選ばれています。

幹事会は会長と庶務2名、編集2名、企画4名、会計2名の各幹事で構成されます。各幹事には名前通りの役割分担(会則参照)があります。会議には幹事会メンバー以外に事務局と場合により討論会運営委員長や重要議題の意見が求められる方が出席します。会議は会長の司会で行われます。議題については後に記載した幹事会報告を参考にして下さい。

昨年度の幹事会

昨年度の幹事会では、例年の議題に加えて、(1)総会で指摘のあった、学会発表軽視問題への対応、(2)会長選挙について、(3)学会シンボルマークの選考、(4)ICCT-96について(準備状況)、および(5)日本著作権協会への加入について話し合われました。結論は(1)に関しては討論会発表者に送付する文書に要旨の差し替えと発表に関する注意の記述を加えることになり、昨年の討論会から実施しております。(2)については前述の通りで、選挙による会長を初めて選出しました。(3)は名大・八田研究室のデザインを投票で選びました。(4)はICCT-96の組織委員会から準備状況の報告を求め、学会の対応が話し合われています。(5)は加入することになりました。(投稿規定の9.著作権参照)。

本年度の主な議題

本年度審議される予定または現在審議中の主な議題は例年の議題とICCT-96関係以外に、(1)研究グループ活動に

についての細則の整備、(2)学会パンフレットの作成について、および(3)会員増強策と学会の活性化についてが予定されております。なお、幹事会の議題への要望や、集会企画の提案はそれぞれ担当の幹事、または事務局に申し出て下さい。

1996年度第1回幹事会(新旧合同)報告

1995年10月1日(日)、於名古屋観光会館会議室

出席者：新旧会長、新旧各幹事、ICCT96庶務部会長、事務局

配布資料：前回幹事会議事録案、1995年度収支中間決算、第30回講習会会計報告、入退会者一覧、X線発見100年記念シンポジウム協賛依頼、日本学術会議第2回界面シンポジウム協賛依頼、V. Valek教授講演会援助依頼、日本熱測定学会第22回通常総会(案)、第17回熱物性シンポジウム/第32回熱測定討論会開催について、第22回ワークショップ「品質保証と熱測定」企画案、国際純正・応用化学連合第14回化学熱力学国際会議計画および進行状況報告)、会員増強に関するアンケート集計結果

主な議題と決定事項

1. 前回幹事会議事録を承認した。
2. 入退会者(入会6名、退会31名)を承認した。
3. 協賛依頼2件を承認した。
4. 第30回熱測定講習会会計報告を承認した。
5. 1995年度事業報告および1995年度収支(中間)報告を承認した。
6. 1996年度役員選挙開票結果の報告と新幹事、新委員の紹介があった。
7. 1996年度事業計画を承認した。
8. 32回討論会準備状況が報告された。
9. 31回、32回講習会が報告された。
10. 20回、21回ワークショップが報告された。
11. 22回ワークショップ「品質保証と熱測定」の提案を承認した。23回以降を募集することになった。
12. V. Valek教授講演会の援助を承認した。
13. 編集委員会報告：毎号に入退会者の氏名と幹事会の重要決定事項を掲載することになった。
14. 1996年度予算案を承認した。
15. 会員増強小委員会報告：パンフレットと会員増強方法のアンケート集計結果が報告された。
16. ICCT-96準備状況報告：2ndサーキュラーの準備が進んでいる。
17. 会則22条の会長代行に阿竹編集委員長を選出した。
18. 研究グループ活動についての細則を整備することとなり、小委員会が発足した。

(庶務幹事)